

「遠く」も「近く」もよく見える 多焦点眼内レンズ



通常の白内障手術で用いられるレンズ“単焦点眼内レンズ”は、「遠く」か「近く」の一方にしか焦点が合いません。そのため、手術後もメガネが必要となります。これに対して“多焦点眼内レンズ”は、「遠く」も「近く」もメガネなしでよく見えます。

単焦点
眼内レンズ

▼
メガネが
必要

多焦点
眼内レンズ

▼
メガネが
いらぬ

手に入ませんか？ メガネのいらぬ快適な生活

遠くを見るためのメガネ、
パソコンを見るためのメガネ、
読書をするためのメガネ・・・

何種類ものメガネを使い分ける不便を感じてはいませんか？

厚生労働省に先進医療として認められた安全な手術、「生活の質」と「見え方の質」を向上させたレンズ、それが多焦点眼内レンズです。

“多焦点眼内レンズ”を用いた白内障手術は、メガネのいらぬ生活を実現します。

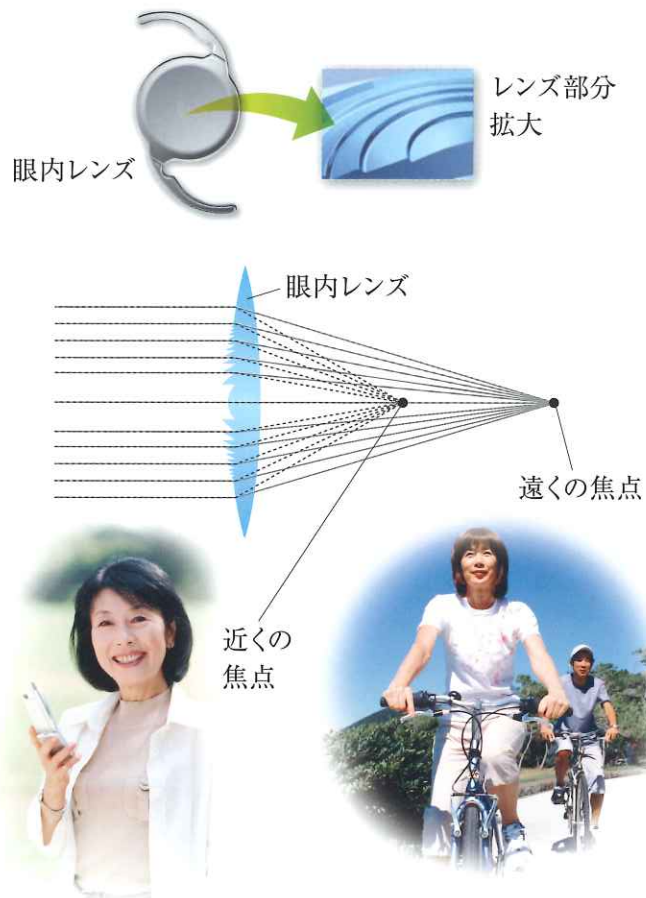


遠くも近くも見えるって本当に快適

- メガネを使わずに、運転も読書もできる方



- 2ヶ所にピントが合うように作られた“多焦点眼内レンズ”



わずか2.4mmで行う日帰り手術

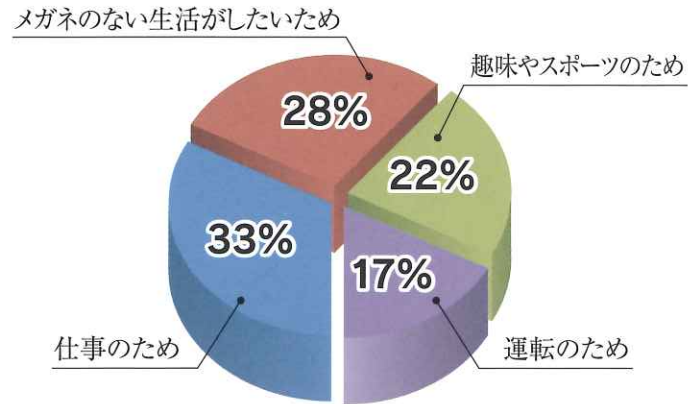
- 約10分の手術時間
- 痛みのない手術
- 半永久の眼内レンズ
- 2.4mmの小さな切開創



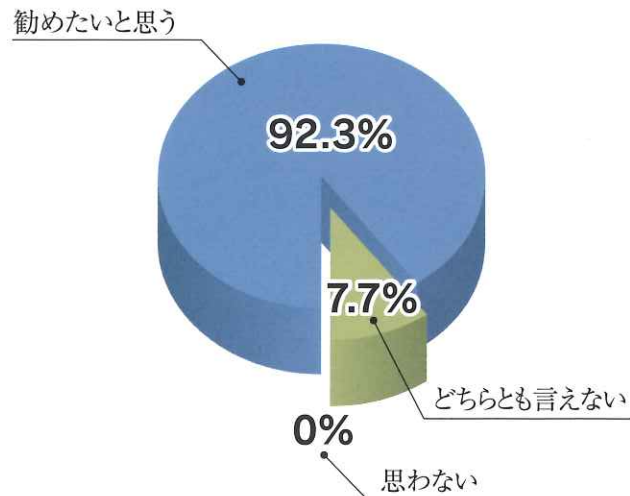
手術の翌日には、メガネなしの快適な生活を送ることができます。

手術を終えた方に聞きました

Q：多焦点眼内レンズを選ばれた理由は何ですか？



Q：周りの方に勧めたいと思いますか？



先進医療



先進医療とは

多焦点眼内レンズを用いた白内障手術は先進医療に指定されているため、先進医療実施医療機関に承認されている当院にて手術を行った場合、手術代金以外の検査代、お薬の処方代などが“健康保険適用”になります。

生命保険給付金について

先進医療特約のついた生命保険に加入され、先進医療認定医療機関で手術をした場合には、手術費用が全額保証されます。
詳しくは、加入されている保険会社へお問い合わせください。

多焦点眼内レンズ手術で 復活したゴルファー



メジャー大会通算9勝を挙げ、男子ゴルフ史上3人目の「キャリア・グランドスラム」を達成したゲーリー・プレイヤーは、2007年に72歳で多焦点レンズの白内障手術を受け、直後に出場したマスターズで79という素晴らしいスコアを出しています。

インタビュアー（以下I）：手術を受ける前はどのような見え方でしたか？

ゲーリー・プレイヤー（以下G）：手術前の7年間は本当に悲惨だったよ。ゴルファーにとって目は大切なものなのに、フェアウェイやグリーンにのったボールが見えなかったんだ。

I：手術を受けた後はいかがですか？

G：今は別世界のようだよ。とてもシャープに見えて、まるで20歳に戻ったようだ。ラインも見えるし、距離もわかる。ゴルフがまたとても楽しくなったね。

I：ほかにも何か変わりましたか？

G：バットのラインがはっきり見える。セカンドショットに使うクラブの種類がわかる。スコアカードも読める。本当に人生で最高のプレゼントだよ。人生が変わったとも言えるね。

I：これから手術を受ける方に一言お願いします。

G：手術を受けるのは怖いものだし、私も最初は気が進まなかった。でも本当に手術を受けて良かったよ。思ったよりずっと簡単で、まさに奇跡だね。手術後に合併症はほとんどないけれど、一つ気になることは、街灯などの光の周りにハロー（光の輪）が見えることかな。今（2007年手術直後のインタビュー）はまだ手術後2カ月だからね。光の輪は日に日に少なくなり、脳が順応してどんどん良く見えるようになってきている。メガネもコンタクトもなしで生活できるようになるなんて本当に驚きだよ。

体験談

人生明るく楽しく暮らせる
最高のプレゼントを授かったと感謝しています。



羽入田 正美様(女性 60代)

手術前視力 右:0.08 左:0.07
手術後視力 右:1.5 左:1.2

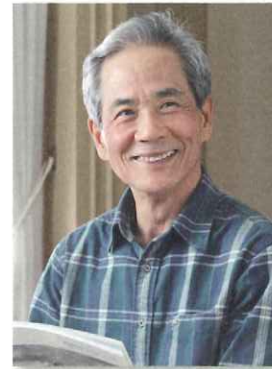
遠くの見え方はいかがですか?不自由はありませんか?
遠くは特に良く見えます。少しドライアイが残っていましたが目薬等で回復して来たので、術後すぐより今の方が良く見える様になりました。

手術を受けられて、日常生活で何か変化したことはありますか?
長いコンタクト歴で角膜に傷がありましたので、コンタクトレンズから解放されたことが一番嬉しいです。
毎日夢のような気持ちで、周りの人に以前より性格も明るく若返ったと言われるようになりました。

多焦点眼内レンズを周りの方に勧めたいと思いますか?
メガネ・コンタクトからの開放は最高にありがたい事だと思います。多焦点は遠くも近くも見える様になりますので、皆様にも是非お勧めしたいと思います。
目のことなので、怖いと感じる方も多いかもしれませんが、痛みはほとんど感じません。私の経験からは『案ずるより産むが易し』と思います。

体験談

メガネをかけたり
はずしたりしなくていいので楽ですね。



前田 稔様(男性 60代)

手術前視力 右:0.07 左:0.06
手術後視力 右:1.5 左:1.2
ブログ:<http://mmaeda.exblog.jp/>

手術を受けられてから日常生活で変わったことはありますか?
1ヶ月経った頃から慣れてきましたね。手術前は遠くがぼんやりしていたのですが、景色がきれいに見えるようになりました。電線まではっきり見えるんですから。
特に白がきれいですね。とにかくメガネから解放されたことがうれしいです。目を守るためにパソコン用メガネはしていますけれど、パソコンも新聞もメガネなしで読めます。

ご趣味やスポーツなどするときに良かったことはありますか?
スポーツのために、先生に私からお願いして多焦点レンズの手術をしていただきました。やはりせっかく手術を受けるのであれば、メガネから解放されたかったので。ソフトボールとバドミントンを週に1回 と健康体操には週に2回通っています。
またオモチャ病院のボランティアスタッフとして活動していますので、細かいところを見る作業があります。以前はメガネをかけたりはずしたりが煩わしかったのですが、今は楽になりました。もともと機械いじりが好きで始めたのですが、今は子どもさんの喜ぶ顔を見るのが楽しみです。